

# 見聞 視察レポート

先進地での学びを生かす

総務文教常任委員会 10月1日(水)～3日(金)

燕市も掛川市の取組みを参考に実施

静岡県掛川市…部活動の地域展開について

## ポイント

燕市に先んじて部活動の地域展開を開始し、令和8年度には完全移行を予定している掛川市を視察しました。

## 視察を終えて

「学校教育の一環」から「生涯学習の一環」へを掲げ、部活動の地域移行だけでなく、地域全体のウェルビーイング(\*)のために展開しています。

指導者バンクや地域クラブサポートセンターを創設し、地域クラブの公認などを推進していることも様々な受け皿を作るために必要な施策であると考えます。

また、アンケートでニーズや傾向性を把握したり、いろんな場面で会議体をつくり、丁寧に合意形成をしながら地域展開を進めている印象を持ちました。部活動の地域展開では、課題が多い吹奏楽部も様々な協議を行い実働しているとのことでした。

「持続性」「多様性」「公平性・包摂性」を重視し、単に学校教育だけにとどまらず、地域全体を巻き込み、活性化させていくという地域展開は学ぶところが多い状態です。これがうまく軌道に乗ると、地域全体での人材の交流と循環が生まれます。このような捉え方で

部活動の地域展開を考えるべきと感じました。



様々な対策をもって部活動の地域移行に取り組んでいる掛川市

## その他の視察先

- ◆静岡県掛川市…新分水良寛史料館の基本構想策定に向けた公共施設の現状について
- ◆静岡県三島市…防災対策について

市民厚生常任委員会 10月6日(月)～8日(水)

子供たちの笑顔があふれる社会をめざして

## ポイント

子供たちが福島市で育ってよかったと誇りを持ち、「子育てをするなら福島市」と称されるよう、地域社会全体で子供と子育てを応援し、子供の笑顔があふれる社会の実現を目的に制定された「子どもの笑顔条例」の取組みを学ぶため、福島市を視察しました。

## 視察を終えて

福島県福島市…子どものえがお条例の取組みについて

条例の概要として、「地域の人、事業者、保育園・幼稚園・学校、保護者、子、市」と6つに役割があり、この関係性を保ち、それぞれの可能性を発揮しながら「子育てするなら福島市」の目指すべき在り方を追求し取り組んでいます。

条例制定にあたっては、福島市が大震災や感染症の影響を乗り越え持続的に発展していくためには「子育てするなら福島市」と称されるまちになり、若い世代が集まり定着していくことが大切であるという背景がありました。

「子育てするなら燕市で」を掲げる本市でも、持続的な

燕市議会の3つの常任委員会は、燕市で抱えるさまざまな課題について課題解決のヒントを得るため、同様の問題を解決したり、成果が出ている他自治体や企業などの視察を行っています。

視察では、現場見学や意見交換を行うなど、先進事例を学び、一般質問などで課題解決に生かします。



視察報告の詳細はこちら

産業建設常任委員会 10月7日(火)～9日(木)

信用情報調査会社と連携し企業誘致へ

佐賀県鳥栖市…企業誘致の取り組みについて

## ポイント

企業誘致の取り組みとして、帝国データバンクなど企業信用情報を有する調査会社に企業のリストアップを依頼し、立地意欲に関するアンケートの実施や、新たな産業団地「サザン鳥栖クロスパーク」開発を行っている鳥栖市を視察しました。

## 視察を終えて

鳥栖市内に新たに高速道路の小郡鳥栖南スマートインターチェンジが整備されたことに伴い、周辺地域を産業用地として整備する構想は平成30年に策定されています。令和7年度に用地買収交渉や立地事業者選定等の実施、令和9年から工事開始、令和12年に操業開始を予定していました。

鳥栖市では、インターチェンジ開通に合わせて産業団地を計画的に整備し、積極的に企業誘致を進めてきました。また、企業の信用情報調査会社と連携して企業側のニーズを丁寧に分析するなど、効率的で再現性の高い方法を取っている点が印象的でした。

地域の交通利便性や既存産業の強みを生かしながら、将来を見据えた産業用地整備や企業誘致戦略を検討していく必要性を感じました。



鳥栖市では「サザン鳥栖クロスパーク」の開発を進めている

## その他の視察先

- ◆福岡県福津市…空き家対策について
- ◆福岡県大牟田市…イノベーション創出促進事業について
- ◆福岡県糸島市…移住定住の取組みについて

## その他の視察先

- ◆福島県福島市…こむこむ館について
- ◆福島県立医科大学…東日本大震災以降の子どもの心のケアについて
- ◆福島県伊達市…健康都市づくりの取組について
- ◆福島県西白河郡矢吹町…家庭訪問型子育て支援「ホームスタート事業」について

まちづくり、若い世代が集まり定着してもらうことを目的とする背景は同じです。子育て施策の基本的な方向性として、地域全体が子供たちを大切に、子育て世代を応援する仕組みをつくる重要性を改めて認識しました。取り組む体制にも大いに共感できました。



福島市では笑顔あふれるまちづくりに取り組んでいる